

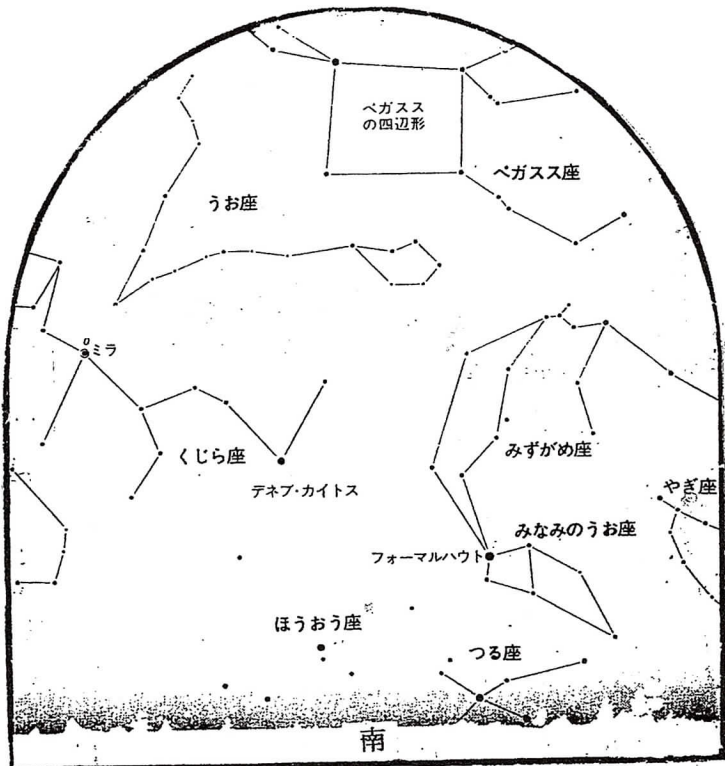
# ☆ 11月の太陽の時刻表と月齢

※ 下の表は黒石市役所での日の出・日の入り・月の出の時刻と、午後9時の月齢と形を表したものです。(30秒未満は切り捨て、30秒以上は繰り上げ)

日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形
1	6:06	16:36	1:20	26.0 ●	11	6:18	16:25	12:48	6.6 上弦☾	21	6:30	16:17	17:21	16.6 ○
2	6:07	16:35	2:30	27.0 ●	12	6:19	16:24	13:22	7.6 ☾	22	6:31	16:16	18:05	17.6 ○
3	6:09	16:33	3:42	28.0 ●	13	6:20	16:23	13:50	8.6 ○	23	6:32	16:16	18:55	18.6 ○
4	6:10	16:32	4:56	29.0 ●	14	6:22	16:22	14:15	9.6 ○	24	6:33	16:15	19:52	19.6 ○
5	6:11	16:31	6:14	0.6 新月●	15	6:23	16:21	14:37	10.6 ○	25	6:34	16:15	20:53	20.6 ○
6	6:12	16:30	7:34	1.6 ●	16	6:24	16:21	14:59	11.6 ○	26	6:35	16:14	21:57	21.6 ○
7	6:13	16:29	8:54	2.6 ●	17	6:25	16:20	15:22	12.6 ○	27	6:36	16:14	23:02	22.6 下弦☽
8	6:14	16:28	10:08	3.6 ●	18	6:26	16:19	15:46	13.6 ○	28	6:37	16:14	—:—	23.6 ●
9	6:16	16:27	11:13	4.6 ●	19	6:27	16:18	16:13	14.6 満月○	29	6:38	16:13	0:09	24.6 ●
10	6:17	16:26	12:06	5.6 ●	20	6:28	16:18	16:44	15.6 ○	30	6:39	16:13	1:18	25.6 ●

月の図は白い部分が光っているところ、黒い部分が欠けているところを表しています

月も地球も動いている関係で、月が出る間隔は平均して約24時間(1日)と51分くらいです。よって、前日の深夜かなり遅く出れば、その日は出なくて、次の日の深夜かなり早い時刻に出ることになります。



## 南の星空

秋の代表的な星座であるペガサス座が高い空に昇り、逆さになった大きな四角の胴体と、右下に首、その上に2本の前足を伸ばした馬の姿がとてもよくわかります。

ペガサス座の下のおお座はVの字をやや斜めにした形で、その2本の線は尾がくっついた2匹の魚をあらわしています。

また、高い山が近くにはないところではみずがめ座の下の低いみなみのうお座に1等星のフォーマルハウトがあり、その赤味を誇らしげに輝かせています。

## 北の星空

星空の観察で最初にわからなければいけないのが北極星です。北斗七星が見えないとき、その北極星を探すのによく使われるのがM型をしたカシオペア座です

カシオペア座が、今の19~21時頃には北の高く見やすい空にいたので、それから地面に向かって目を移すと、ちょうど中間ぐらいの高さのところにぼつんと北極星があります。

また、カシオペア座の近くには、五角形をして、ほぼ一年中北極星の周りを回って目立つケフェウス座があります。

月はじめは 21時ころ  
10日前後は 20時20分ころ  
20日前後は 19時40分ころ  
月まっは 19時ころ

